

会計名			公共施設維持保全計画推進事業				担当部	企画財政部		
一般会計							担当課	施設保全課		
款	項	目					担当係	計画推進係		
2	1	9								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	行政経営							
		施策の内容	健全な財政運営							
	目的	学校を始めとする公共施設の多くが、建設後30～40年経過し、今後維持修繕費用の増加や建替え、大規模修繕の時期を迎える施設数の増加が見込まれる中、本市が所有する公共施設を適切に維持保全する。			主たる内容	公共施設の適切な維持保全のために、構造体耐久性調査、施設評価、優先度の設定、保全計画の策定を行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設維持保全計画							
		根拠法令								
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成23年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価・優先度の設定</li> <li>計画のローリング</li> <li>構造体耐久性調査</li> <li>非構造部材耐震点検</li> <li>PCB分析調査</li> <li>工事監理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価・優先度の設定</li> <li>計画のローリング</li> <li>構造体耐久性調査</li> <li>PCB処分</li> <li>工事監理</li> <li>施設保守点検業務委託契約の一元化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価・優先度の設定</li> <li>計画のローリング</li> <li>構造体耐久性調査</li> <li>PCB処分</li> <li>工事監理</li> <li>計画支援システム保守点検</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設評価・優先度の設定</li> <li>計画のローリング</li> <li>構造体耐久性調査</li> <li>施設保守点検業務委託契約の一元化</li> <li>工事監理</li> <li>計画支援システム保守点検</li> </ul>		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>現地調査により公共施設（建物）の劣化状況を把握し、適切な改修期間を設定し、当該施設の長寿命化に資する保全計画を策定した。</li> <li>保全計画に係る工事の工事監理委託を発注し、適正な工事品質を確保した。</li> <li>施設で行っていた保守点検業務委託をとりまとめ、入札契約を一元化し、契約金額の削減を図った。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の利用状況、建物の改修に要したコスト等のデータを蓄積することにより、精度の高い計画に更新していく必要がある。</li> </ul>								
	指標名称（単位）			実績値		目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	計画推進率（%）				100.0	100.0	100.0			
活動指標										
	他市との比較検証	公共施設維持保全計画は、全国にも多くの自治体で策定されている。 （県内）名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、安城市等 （県外）流山市、神戸市、倉敷市、調布市、茅ヶ崎市等								
C 事業 コスト V	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
	事業費①	44,439	27,969	47,041	51,109	合計	47,040,820円			
	財源	特定財源	0	0	0	3,291	旅費	10,200円		
		一般財源	44,439	27,969	47,041	47,818	需用費	34,680円		
	職員人件費②	15,135	16,844	14,067	18,209	委託料	45,885,940円			
	総事業費（①+②）	59,574	44,813	61,108	69,318	使用料及び賃借料	1,071,000円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								
	負担金、補助及び交付金	0円								

会計名			公共施設維持保全計画推進事業	担当部	企画財政部
一般会計				担当課	施設保全課
款	項	目		担当係	計画推進係
2	1	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	今後、維持修繕費用の増加が見込まれるため、各年度の費用を平準化していかなければならない。他市町村・民間においても実施されている計画・考え方であり、必要性がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	中長期修繕計画を作成し、修繕・改修を計画的・予防的に行うことにより、公共施設を長寿命化させ建替に係る巨額な費用や突発的に起こる過大な改修費用を抑えられる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市が所有する公共施設の維持保全・長寿命化に資する短期・中期的な予算配分に係る事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	各年度の維持修繕費を平準化し、健全な財政運営を目指す。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
各公共施設の工事履歴や利用状況等を公共施設維持保全計画支援システムにて一元管理し、そのデータを基に毎年度計画内容の見直しや更新情報の更新を行う。 また、目標耐用年数（80年）まで耐えられるか判断するため、建築から40年程度経過した建物に対し、コンクリート中性化試験等の調査を実施し、今後の保全方針を決定する。					

会計名			公共施設等総合管理計画策定事業				担当部	企画財政部		
一般会計							担当課	施設保全課		
款	項	目					担当係	計画推進係		
2	1	9								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	行政経営							
		施策の内容	健全な財政運営							
	目的	国からの要請に基づき、既に策定している公共の建物や橋りょう、公園等の個別計画を踏まえ、公共施設全体を取りまとめた公共施設等総合管理計画を策定し、より効率的な老朽化対策を推進する。				主たる内容	公共施設等の現況、課題の把握・分析を行うことにより、総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針を作成し、総合管理計画の策定を行う。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市公共施設維持保全計画、橋りょう長寿命化修繕計画、公園施設長寿命化計画 根拠法令								
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議の開催 5回</li> <li>・施設管理担当者向け講演会の実施</li> <li>・施設アンケート調査及びヒアリングの実施</li> <li>・公共施設等総合管理計画案の作成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定部会の開催 5回</li> <li>・市職員向け講演会の実施</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> <li>・公共施設等総合管理計画の策定</li> </ul>		_____		
		成果	・施設用途別の現状及び方向性を整理するとともに、道路等のインフラの種別ごとの取組方針を包含する計画書とした。							
課題		・計画策定時の推計値と実績値から、内容の精査をしていく必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	計画策定進捗率（％）				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標					—	50.0	100.0	—		
他市との比較検証	策定状況（平成29年3月31日現在） 全国のおおよその自治体で策定済み									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	6,211	7,754	0	合計	7,753,940 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	1,700 円		
		一般財源	0	6,211	7,754	0	委託料	7,752,240 円		
	職員人件費 ②	0	3,917	6,408	0					
	総事業費（①+②）	0	10,128	14,162	0					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	28年度特定財源名称						
	28年度までの累積事業費		0							
	30年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設等総合管理計画策定事業	担当部	企画財政部
一般会計				担当課	施設保全課
款	項	目		担当係	計画推進係
2	1	9			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	総務省の要請により、全国の自治体において策定するものである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	専門的なノウハウを有する業者の支援を必要とするものであり、計画策定に係る時間的・金銭的成本から妥当なものである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	市が所有する公共施設等の管理のあり方について基本的な方針を示すものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	公共施設等の維持管理、更新に係る費用の削減や財政負担の平準化、施設の再編等に向けた方針を整理し、公共施設等の維持管理の最適化に向けた取り組みを促進する。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度完了事業					

会計名			公共施設維持保全基金積立事業				担当部	企画財政部	
一般会計							担当課	施設保全課	
款	項	目					担当係	計画推進係	
2	1	9							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	行政経営						
		施策の内容	健全な財政運営						
	目的	今後増大する公共施設の維持保全費用の財源を確保し、公共施設の健全かつ円滑な維持保全を図るため基金を積み立てる。			主たる内容	公共施設の修繕、改修及び立替に係る資金に充てるため、公共施設維持保全基金に運用収入の積立て等を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市公共施設維持保全計画						
			根拠法令	刈谷市公共施設維持保全基金条例					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成24年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		積立額	1,687,994,347円	積立額	750,515,760円	積立額	1,197,741,799円	積立額	7,920,000円
取崩額		400,000,000円	取崩額	1,139,000,000円	取崩額	1,971,000,000円	取崩額	1,481,000,000円	
年度末現在高		5,516,997,347円	年度末現在高	5,128,513,107円	年度末現在高	4,355,254,906円	年度末現在高	2,882,174,906円 (当初予算時点)	
成果		・将来の公共施設の修繕、改修及び建替に係る費用の増加に備え、適切に取崩額を抑えたとともに積立てを行った。 ・基金を充当する対象に、道路・橋りょう等のインフラ施設の更新等を追加することとした。							
課題	・基金の充当対象の追加により、適切に執行計画を立てる必要がある。								
O 実績 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	活動指標	基金取崩予定事業数（事業）			4	15	9	11	
	活動指標								
他市との比較検証	各市の平成27年度末現在 ・岡崎市 公共施設保全整備基金 5,737,328千円 ・安城市 公共施設保全整備基金 2,011,124千円 ・みよし市 公共施設維持管理基金 2,466,253千円 ・豊田市 公共施設安全安心基金 3,000,000千円 ・高浜市 公共施設等整備基金 967,129千円								
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		1,687,994	750,516	1,197,742	7,920	合計 1,197,741,799円		
	財源	特定財源	3,879	11,116	13,839	7,920	積立金 1,197,741,799円		
		一般財源	1,684,115	739,400	1,183,903	0			
	職員人件費②		2,112	1,567	1,563	1,517			
	総事業費（①+②）		1,690,106	752,083	1,199,305	9,437			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金積立金					
30年度以降の事業費見込		0		利子					